

きれいな町に住みたい

6月の町内一斉清掃



▲公園に生えている雑草を抜いたり、子どもがけがをしないよう石をとり、のぞいたり、ずっとしゃがんだままの根気のいる作業が行われました。

町民自らまちの美化に取り組む「町内一斉清掃」が6月1日、各行政区で行われました。

この日は天候にも恵まれたので、町内の公園や路上には朝早くから鎌やゴミ袋を手にしたかたがたくさん集まりました。作業は草刈りやごみ拾いが行われ汚れた箇所も見違えるようになりました。

一斉清掃終了後は、参加したかたは「さっぱりしたね」と満足そうなようすでした。



▲歩道のいたるところに生える雑草。これ以上増えないよう刈り取り、一か所に集めます。

花で町に彩りを

一斉清掃の後は植栽活動

6月1日、生協大河原店前の花壇で、金ヶ瀬6区の皆さんが植栽活動を行いました。

緑化推進による環境保全を目的としたこの活動は15年前から行われています。

当日は、マリーゴールドやサルビアなどの花700本を植栽。歩道沿いに植えられた黄色や明るい赤色の花々はまちをきれいに彩りました。

町では、このような地域緑化活動に対し、「緑の募金」から費用の一部を交付しています。詳しくは農政課までお問い合わせください。



▲花が等間隔になるよう丁寧に植えています。



▲ごはんを薄くのりに伸ばしきるのが難しいところのようです。

食べるのもったいない!?

中央公民館で飾り巻きずし講座

5月27日、中央公民館で、のりを巻いた具材を使ってカエルやカタツムリのキャラクターなどを形作る「飾り巻きずし講座」が開催されました。

参加した16人の生徒の皆さんは、ご飯粒を均等にのぼす方法や具材をきれいにさせるコツなど複雑な工程を聞き漏らすまいと、講師の鈴木美和子さんの話を熱心に聞きながら、夢中になって作っていました。

完成するまでどんな模様になっているかわからないため、包丁を入れるときはどきどき。仕上がりは食べるのがもったいないくらいの出来栄で、皆さん満足そうでした。



遊んで、歌って、食べて

上谷児童館こどもまつり

南小学校区の子どもたちが毎年楽しみにしている「上谷児童館こどもまつり」が6月14日開催されました。

オープニングは児童クラブの子どもたちによるフラフープと合唱の披露やジュニアリーダーのお兄さん・お姉さんたちとのゲームで盛り上がりしました。

その後の子どもたちのお目当てはもちろん、館庭に設けられた「ストラッカー」や「くじびき」などの遊びのコーナー。一目散にお目当てのコーナーになり、得点を友達と競い合ったり、工作を夢中になって作ったりしました。

館内はバザーや工作コーナーのほかフランクフルトやポップコーンなどの模擬店でにぎわい、子どもたちは楽しい一日を過ごしていました。



▲曲にあわせて、フラフープを上手に回す児童クラブの子どもたち。



▲ボールのコントロールが難しい...大人気のストラッカーゲーム

奥深い作品の散々

さつき展・陶芸展・キルト展・洋画展・和裁作品展

6月7日・8日の2日間、中央公民館で「さつき展（主催：お多福会）」「陶芸展（主催：大河原陶芸愛好会）」「キルト展（主催：ラベンダーキルトサークル）」「洋画展（主催：大河原美術同好会）」「和裁作品展（主催：和裁愛好会）」がそれぞれ開催されました。

会場には、会員の皆さんが愛情を注いで仕上げた傑作がずらり。訪れた皆さんは一つひとつ観賞しながら、気に入った作品を見つけると長い時間たずんでいました。



▲じっと見ていると、小さなさつきが大きな世界を感じさせてくれます(「さつき展」より)

試合にそなえて

大河原ミニバスケットボールクラブで強化練習

東北ミニバスケットボール大会の予選を間近に控えた6月7日、総合体育館で大河原ミニバスケットボールクラブの実戦に向けた練習が行われました。

同クラブに在籍するのは、小学1年生から6年生まで男子11人、女子14人。ディフェンスの練習では、瞬時に相手の動きに対応できるよう腰を深く落とし、オフェンスをサイドラインに追い込むなど、どの子も全力で練習に取り組み、熱い汗を流していました。



▲勝利に向かって、ファイト!

スポーツ☆ニュース (敬称略)

- 大河原町春季ビニールボール大会 開催日 5月25日 会場 総合体育館
優勝 さくら 準優勝 BLITZ 第3位 本町ドリームズ 第4位 中町